



ALLIANCEBERNSTEIN®

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号

日比谷パークフロント14階

TEL: 03-5962-9000(代)

www.alliancebernstein.co.jp

ニュースリリース

2021年1月5日

アライアンス・バーンスタイン・世界SDGs株式ファンド (資産成長型) / (予想分配金提示型) 新規設定のお知らせ

【東京-2021年1月5日】アライアンス・バーンスタイン株式会社(東京都千代田区、代表取締役社長: 阪口和子)は、2021年1月5日に、SDGs達成への貢献が期待される日本を含む世界各国の企業の株式に投資を行う投資信託アライアンス・バーンスタイン・世界SDGs株式ファンド(資産成長型) / (予想分配金提示型)を新規設定いたしました。また、本日(2021年1月5日)から、大和証券株式会社が販売会社として加わりました。

SDGsという2020年代最大の長期成長テーマの追い風を受けながら、SDGsに関連した先進的な製品・サービスを提供することで、利益成長と株価上昇が期待できる企業を選別して投資を行います。社会に貢献する企業を応援するという社会的意義のみならず、投資家にリターンを提供するという、2つの目的の同時達成を目指します。

当ファンドを通じて、より多くのお客様の資産形成のサポートができるよう、引き続き尽力して参ります。





ALLIANCEBERNSTEIN®

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号

日比谷パークフロント14階

TEL: 03-5962-9000(代)

www.alliancebernstein.co.jp

アライアンス・バーンスタインについて

アライアンス・バーンスタイン(以下、「AB」)は、世界各国において、機関投資家や個人投資家、個人富裕層に対して、高品質のリサーチと広い範囲にわたる資産運用サービスを提供する世界有数の資産運用会社です。運用プロフェッショナル514名(2020年9月30日現在)を擁し、様々な資産運用サービスを世界26カ国で提供しています。2020年9月30日現在の運用資産総額は約66.6兆円です。ABには、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーとその傘下の関連会社を含みます。アライアンス・バーンスタイン・ホールディング・エル・ピーはニューヨーク証券取引所に上場しています。

アライアンス・バーンスタイン株式会社について

アライアンス・バーンスタイン株式会社は、ABの日本拠点です。1986年の拠点開設以来、個人投資家や機関投資家向けに投資信託や年金運用などの投資サービスを提供しています。2020年9月30日現在の運用資産総額は約4兆20億円です。より詳しい情報は、<https://www.alliancebernstein.co.jp/>をご覧ください。

金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第303号

加入協会:一般社団法人投資信託協会／一般社団法人日本投資顧問業協会／日本証券業協会／
一般社団法人第二種金融商品取引業協会

<ご留意事項>

当資料は、ニュースリリースとしてアライアンス・バーンスタイン株式会社が作成した資料であり、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。また、勧誘を目的に使用することはできません。当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更することがあります。当資料は、信頼できると判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性、完全性を保証するものではありません。

お問い合わせ先:

アライアンス・バーンスタイン株式会社 マーケティング・コミュニケーション部

本間 康之(ほんま やすゆき)／中根 渉(なかね わたる)

TEL: 03-5962-9135



ALLIANCEBERNSTEIN®

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号

日比谷パークフロント14階

TEL: 03-5962-9000(代)

www.alliancebernstein.co.jp

アライアンス・バーンスタイン・世界SDGs株式ファンド(資産成長型) アライアンス・バーンスタイン・世界SDGs株式ファンド(予想分配金提示型)

ファンドの特色

1. 主要投資対象ファンド*への投資を通じて、SDGs 達成への貢献が期待される日本を含む世界各国の企業の株式に投資します。

*ルクセンブルグ籍円建外国投資証券「AB SICAV I –サステナブル・グローバル・シーマティック・ポートフォリオ 円建てクラス S1 シェアーズ」を主要投資対象ファンドとします。

■MSCI オール・カントリー・ワールド・インデックス(配当込み、円ベース)を参考指数[※]とします。

※MSCI Inc.が開発した株価指数です。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc.に帰属します。

2. 主要投資対象ファンドの運用は、アライアンス・バーンスタイン・エル・ピーが行います。
3. 当ファンドは、ファンド・オブ・ファンズ方式により運用を行います。
4. 実質的な組入外貨建資産については、原則として対円での為替ヘッジを行いません。
5. 分配方針の異なる2つのコースがあります。

分配方針

分配方針の異なる2つのコースがあります。

(資産成長型)

複利効果による信託財産の成長を優先するため、分配を極力抑制します。

(予想分配金提示型)

毎月決算を行い、毎計算期末の前営業日の基準価額に応じた分配を目指します。

投資リスクについて

当ファンドは、主として投資対象ファンドを通じて値動きのある金融商品等に投資しますので、組入れられた金融商品等の値動き(外貨建資産には為替変動リスクもあります。)により基準価額は変動し、投資元本を割り込むことがあります。したがって、元金が保証されているものではありません。当ファンドの運用による損益は全て投資者に帰属します。投資信託は預貯金と異なります。

【株価変動リスク】

経済・政治情勢や発行企業の業績等の影響でファンドの組入株式の相場が変動し、損失を被るリスクがあります。

【為替変動リスク】

実質外貨建資産に対し原則として為替ヘッジを行いませんので、基準価額は為替相場の変動の影響を受けます。

【信用リスク】

投資対象金融商品等の発行体が経営不安や倒産等に陥った場合に資金回収ができなくなるリスクや、それが予想される場合にその金融商品等の価格下落で損失を被るリスクがあります。また、金融商品等の取引相手方に債務不履行が生じた場合等には、損失を被るリスクがあります。

【カントリー・リスク】

発行国の政治・経済・社会情勢の変化で金融・証券市場が混乱し、金融商品等の価格が大きく変動する可能性があります。一般に新興国市場は、市場規模、法制度、インフラなどが限定的なこと、価格変動性が大きいこと、決済の効率性が低いことなどから、リスクが高くなります。



ALLIANCEBERNSTEIN®

アライアンス・バーンスタイン株式会社

〒100-0011

東京都千代田区内幸町二丁目1番6号

日比谷パークフロント14階

TEL: 03-5962-9000(代)

www.alliancebernstein.co.jp

【流動性リスク】

市場規模や取引量が限られる場合などに、機動的に金融商品等の取引ができない可能性があり、結果として損失を被るリスクがあります。

※基準価額の変動要因は上記に限定されるものではありません。詳しくは投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

お客様にご負担いただく費用

■投資者が直接的に負担する費用

購入時の費用

【申込手数料】

購入価額と購入口数を乗じて得た金額に、販売会社が別に定める購入時手数料率(3.3%(税抜3.0%)を上限とします。)を乗じて得た額とします。詳しくは販売会社にお問い合わせください。

【信託財産留保額】 ありません。

■投資者が信託財産で間接的に負担する費用

運用管理費用(信託報酬)

ファンド 純資産総額に対して年率 0.9064%(税抜 0.824%)

投資対象ファンド 年率 0.71%(上限)

実質的な負担 純資産総額に対して年率 1.6164%(税抜 1.534%)(上限)

その他の費用・手数料

●金融商品等の売買委託手数料／外貨建資産の保管等に要する費用／信託財産に関する租税／

信託事務の処理に要する諸費用等

※ 投資者の皆様は保有期間中その都度がかかります。なお、これらの費用は運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を表示できません。

●監査費用／法定書類関係費用／計理業務関係費用／受益権の管理事務に係る費用等

※ 純資産総額に対して年0.1%(税込)の率を上限として、信託財産より間接的にご負担いただく場合があります(これらに該当する業務を委託する場合は、その委託費用を含みます。)。かかる諸費用は、日々計上され、ファンドの基準価額に反映されます。なお、毎計算期末または信託終了のときに、信託財産中から委託会社に対して支払われます。

※ ファンドの費用の合計額については、投資者の皆様が当ファンドを保有される期間等に応じて異なりますので、表示することができません。

以上